



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第445号

横浜市立みたけ台中学校

令和6年1月29日

学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

今年も皆様に支えられながら…

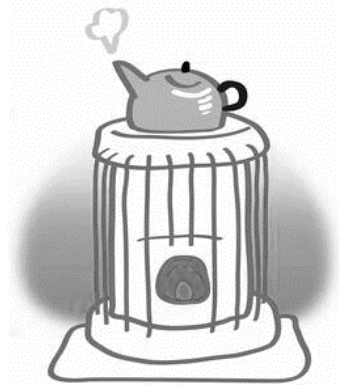
副校長 金田 貴子

1月1日に発生した能登半島地震から約1か月となりました。

現地では、雪が降る中、多くの方々が避難生活を送られています。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、これから寒さが厳しくなる、という1月中旬、教室のエアコンが故障しました。どうやら復日には時間がかかりそう…。

この緊急事態に、近隣の小中学校から、計13台の石油ストーブ、区役所から4台の電気ストーブをお借りすることができました。ストーブを運ぶ際には、地域の方から軽トラックを、マニュアル使用の軽トラックを運転するための人員を学区の小中学校から…と、多くの方のお力添えのもと、おかげさまで生徒たちは温かく毎日をごすごすことができました。工事関係の方の素早い対応もあり、故障から2週間ほどでエアコンを復旧させることができました。



また、1月は、キャリア教育の一環として、12日、15日、16日に地域の方々と面接官としてお招きした3年生の面接練習、23日に様々なジャンルの職業の方を招いての職業講話がありました。この他にも、1年生のSDGsの活動で使う竹の間伐材の手配にご尽力いただくなど、今月も、多くの方々が、子どもたちのためにと時間や労をいとわず協力してくださいました。保護者の皆様はじめ、学校がいかに多くの方に支えられているかということ、人と人のつながりの大切さを改めて実感しました。感謝申し上げます。

今年も、皆様のご支援のもと、みたけ台中学校の生徒がそれぞれに生き生きと過ごせる学校を目指して、教職員一同取り組んでまいります。

ごあいさつが遅くなりましたが、今年も、みたけ台中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

「横浜市ふるさと納税別教育活動の充実」(教育活動の充実寄付金)より、本校にご寄付をいただきました。ありがとうございます。温かな志に感謝すると同時に、身の引き締まる思いです。いただいたご寄付は、生徒たちの学びや学校生活の充実のために、大切に使用させていただきます。

<3年面接練習>

1月12日(金)、15日(月)、16日(火)に、3年生のキャリア教育の一環として、地域の皆様を面接官としてお招きし、面接練習を行いました。今年度から公立高校の入学試験における面接は、一部を除きなくなりましたが、この先社会に出たときの態度やマナー、対応について学ぶ、また、実際の面接と同じ緊張感をもって取り組む機会として、実施しました。緊張しながらも自分と向き合い面接を行ったことや、面接官を務めていただいた地域の方からのアドバイスは、生徒たちにとってたいへん素晴らしい経験となったようです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(生徒の感想)

- ・実際の緊張感を感じることができ、その中で自分がどれくらい話せるのか知ることができました。ほめていただいたように、話すときはきはきと話して、相手に自分の伝えたいことをしっかり伝えられるようにしたいです。
- ・面接をする前はとても緊張していましたが、自分の思っていることを全部伝えようと思い取り組みました。笑顔でほめてくださったとき、とても勇気が出ました。言葉で伝えるのはとても難しいけど、本番でも本当の自分を伝え、この練習を生かしてがんばります。
- ・友達以外と面接練習をするのは初めてで緊張していたけれど、地域の方がとてもやさしい方で、落ち着いて答えることができました。質問を答えるときに、たまに同じ言葉を繰り返して使っていたので、違う言葉を使うなどしたいです。自分の良いところをほめてくださり、自信につながりました。

<個別 合同発表会>

1月19日に、西区にある「西公会堂」にて、「第66回横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同学芸会」が開催されました。今年は、旭区と青葉区が、同じグループとなり発表をしました。どの学校も、個性を生かし、様々なパフォーマンスをしていました。これまで一生懸命練習し、クラスの課題や自分の長所を生かし、楽しそうに表現している姿を感じることができました。本校は、10月に行われた課題発表会での演目を、クラスで再度話し合い、「どうすれば見ている人たちにわかりやすく伝えられるか」を考え、表現方法や場面を増やした内容で発表しました。この経験が、クラスや日常生活に生かせるようになると思います。生徒の感想を一部載せさせていただきます。

○発表前の気持ち

- ・思い切って取り組もうと思いました！
- ・自分のセリフを言えるか、すごい不安で緊張しました。

○発表を終えて

- ・セリフをちゃんと覚えて、すごくほっとしました。
- ・もう終わったんだなあ・・・と思いました。

○どんな風に取り組めたか

- ・台本の読み合わせやイラスト作成は大変でしたが、積極的に取り組むことができ嬉しかったです。
- ・イラストの色塗りを頑張りました！時間をかけて塗れたので良かったです。

○感想

- ・それぞれの学校の個性が出ていて、とても楽しかったです。
- ・中学校生活最後の学芸会だったので、本番前はすごく緊張しましたが、最後まで発表ができて、嬉しかったです。最高の思い出ができました。



< 職業講話 >

第1学年では、社会に出て働くことの意義を考えるとともに、さまざまな職業について知り、将来への選択肢を広げることをねらいとしてキャリア学習を進めてきました。冬休みは身近な人への職業インタビュー、今月は自分の興味のある職業についての職業調べを行いました。1月23日の職業講話では、国立天文台ハワイ観測所の岡慎司様より、「働くとは」というテーマで全体講演をしていただきました。講演の中では、思い通りにいかななくても目標に向かって「もがく」ことの大切さや、人がもっている知的好奇心を世の中のために「謙虚に」活用するべきこと、そして、人との「縁」を大事にすることなどをお話していただきました。生徒たちは真剣に、時折メモをとりながら話を聞いていました。

全体講演の後には、パティシエ・消防士・新聞記者・国際協力をされている4名の方に来ていただき、生徒たちは自分の興味のある分野に分かれてより具体的に、近い距離で話を聞きました。講師の方々には実際の写真や記事などを用意していただいたり、本やインターネットではなかなか知り得ない情報もお話していただいたりしました。限られた職業にはなりませんが、将来への視野が広がる時間になったのではないかなと思います。

中学校3年間を通し、自分の将来を自分で考え、選択していく力を身につけられるよう、今後もさまざまな活動を行っていきます。ご家庭でのご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○生徒の振り返りより

・今までは、仕事は大変そう、面倒くさそうと思っていたけど、今回の職業講話でお話をしてくださった方たちはみんな生き生きと楽しそうに仕事をしているように感じられたし、自分の仕事に誇りをもって、マイナスのイメージからプラスのイメージに変わった。

・今までは「お金」がすべてだと思っていたけど、今回の職業講話で自分のやりたいことができる仕事を選んだ方がいいと思った。

・自分が望んでいない会社や職場に就職しても、めげずに、与えられた場所で一生懸命に仕事をしているのはカッコいいと思った。自分が望んでいない仕事だとしても努力をしたら報われるんだなと思った。

・大変なこともたくさんあるけど、頑張るからこそ得られる喜びや、やりがいがあることに気づいた。楽な方に逃げると自分が成長できなくなってしまうことがわかった。

・失敗してもいいから、自分がしたいことをみつけて挑戦しようと思った。

・「諦めずにもがき続けよう！」という話があったけど、大人になってからではなく、今から意識して勉強もスポーツも頑張っていきたい。

・働くことによって、自分の能力が認められるようになったり、自分の得意なことを生かせることによって、仕事を続けられるのだなと感じた。

・身近な人の行動や職業が自分の夢につながっているものが多いということを知った。

